



日本家族看護学会

Japanese Association for Research in Family Nursing

*International Exchanges Committee
Newsletter - December 2024 Vol. 2*

■委員会だより

(1) The 1st East Asian Workshop for Childhood Cancer Survivors の参加について

7月26日～28日に韓国ソウルで開催された The 1st East Asian Workshop for Childhood Cancer Survivors に、名古屋小児がん基金サポートのもと、理事長小島勢二先生と名大病院中高生の会のOB会「クロワッサンス」の皆様と参加してきました。今回は Childhood Cancer Korea 主催で、Childhood Cancer Foundation, R.O.C とも共同した、韓台日小児がんサバイバー交流となりました。各国サバイバーのスピーチ、小グループテーマ別討議、研究発表、講義、ASAN Medical Center とシェルター（憩いの家）見学など、盛りだくさんの2泊3日でした。みんなのかけこよさとやさしさ、交流から生まれる国を越えた一体感、共通するものとそれぞれの国の特徴を感じてきました。亡くなったみんなのことも感じながら、学び多い楽しい時間を過ごしてきました。来年は日本での開催、発展していくことを祈念します。（新家委員）



(2) 2024年度、国際交流委員会企画「患者の声を聞く意思決定支援 －家族の文脈を大切にしたケア－」開催決定！

2025年2月8日（土）13時～17時に遠隔会議システムを利用して開催いたします。今回は韓国の延世大学から Anna Lee 先生、台湾大学の Chia-Chun Tang 先生、そして日本からは 2024年度 Small Group が小児と家族の意思決定について発表いたします。国際交流を目的とした親しみやすい交流会です。是非、皆さん気軽に参加してください。

■活動紹介

(1) JRAFN31

「Promoting Family Strength Globally challenging times : 日本とオーストラリアからの報告」について

先日、鎌倉芸術館で開催されました JRAFN31 で、「Promoting Family Strength Globally challenging times : 日本とオーストラリアからの報告」を開催いたしました。Elisabeth Coyne 先生には家族のコミュニケーションとデジタルテクノロジーの活用による看護実践について、加藤智子先生にはコロナ禍の面会制限における家族看護の実践についてご講演いただきました。Elisabeth Coyne 先生は Zoom で当日も参加していただき、会場からの質問にもたくさんご回答いただきました。途中機材トラブルもあり、お聞き苦しい点もあったかと思いますが、参加していただいた皆様に委員会一同心から感謝申し上げます。

(2) 2024年度 Small Group メンバーの活動について

第3期となった今年度のスモールグループは、8名の参加者で、小児と家族の意思決定をテーマに事例チームと文献チームの2つのチームで活動を行っています。今期はメンバーが希望するテーマが似ていたため、1ヵ月に1度事例チームと文献チームの合同ミーティングを行っています。合同ミーティングではそれぞれのチームの進捗を報告し、2月開催の「患者の声を聞く意思決定支援－家族の文脈を大切にしたケア－」での発表に向けて、どんなことをディスカッションしたいか、など和気あいあいと話し合っています。

■世界の車窓から

(1) 17th International Family Nursing Conference(IFNC17)追加演題登録開始

国際家族看護学会第17回学術集会（17th IFNC）が2025年6月17日～20日にかけてオーストラリアのパースで開催されます。2025年1月21日（火）まで追加で演題登録ができます。

国際交流委員会メンバー：

- 委員長：本田順子
- 委員：今井美佳、池田真理、島田なつき、築田誠、新家一輝、福井美苗